

令和 7 年度 事 業 計 画

1、基本方針

高齢者が働くことを通して、知識や技術・経験を生かせるよう就業の場を確保し提供することにより、高齢者の社会貢献・社会参加と生きがいの充実、或いは健康の維持・増進に寄与し、活力ある社会づくりに貢献する。

今後においても、急速な少子・高齢化が進むことが予測される中、シルバー人材センター（以下、センターと表記する）会員も高齢化が進み、体調不良により退会する会員が増えている現状にある。

昨年度は、会員拡大を重点にセンターの活動を活発化させ、シルバー感謝祭・入会説明会・為になる講習会や教室など、会員が喜んで頂けるような企画を実行してきた。また、女性会員拡大委員会（リボンの会）を立ち上げ、女性会員を拡大するために様々な活動を展開し、昨年度は 45 名の新規入会があった。

センターの基本となる請負・派遣受注件数については、業務内容により増減はあるが、結果的に昨年並みの受注実績をなんとか維持することが出来た。

人材の面については、高齢化の進展による就業会員の離脱、定年制延長による会員候補の減少などの現状がある反面、清掃・草刈・草取り・除雪等これまで市民が自分でやってきたことが出来なくなり、センターに依頼してくる例が昨年に引き続き増加傾向にあり、センターの役割は増大している。

令和 7 年度においても、厳しい情勢・物価高騰により生活しづい状態が続いているが、それを打破する企画を立案・実行し、目的である新規会員拡大・会員満足を軸に運営していきたい。

厳しい環境の中ではあるが、会員・職員が一丸となって、基本理念である「自主・自立、共働・共助」を常に認識し、依頼者である市・市民・企業に寄り添った運営を図り、センターの存在意義を確かなものにしていく。

2、事業実施計画

(1) 広報活動の強化による新規会員拡大

市・市民・企業におけるセンターの役割は年々増大している反面、加齢・病気等により会員を退会していく現状があり、昨年は 45 名（男性 13 名・女性 32 名）の新しい会員を迎えた一方で、高齢・病気・転居を理由に退会した会員が 20 名（男性 14 名・女性 6 名）と、引き続き高い水準での退会者が発生している。センターの存在というのがまだまだ認知不足というのがあることから、広報宣伝活動を継続的に実施し、また、女性会員拡大委員会（リボンの会）の活動も昨年度以上の活動をお

願いし、特に人手不足分野・現役世代を支える分野や女性会員を拡大するため積極的な活動を展開していく。

(2) 新たな分野に対する就業先の模索・検討・開拓

センターでは、屋内・屋外の就業（代表的なもので、除草・除雪・掃除等）を受注しており、昨年から家庭から出るゴミをステーションまで持っていくゴミ出しの案件を受注し、依頼者のニーズに答える就業開拓をしてきた。これからも、依頼者のニーズや新たな分野での就業開拓を模索していき、安全面や実現可能な就業なのかを総合的に判断し、就業先の幅を増やしていく。

(3) 既存会員の会員満足度を上げる

センターの基本である、就業先の確保や新たな就業開拓を展開するのはもちろんのこと、会員の為になるような講習会・教室を企画・立案、またシルバー感謝祭やいきいき交流会など会員交流の場を設け、楽しいイベントを通して会員の満足度を上げていく。

(4) 安全就業の徹底

「安全はすべてに優先する」という言葉通り、センターの活動は安全就業が大前提である。昨年は大きな事故は無かったが、事故による負傷は、会員のみならずご家族の生活にも重大な影響を与える。安全・適正就業委員会をはじめ、職員の作業現場巡回や事故防止啓発を今後も継続していく。会員個人が十分な認識と、安全措置を講じることを基本とし、会員相互の安全チェックなど組織的な防衛も機能させることが必要である。

本年も、安全・適正就業委員会の活動・職員の作業現場巡回・講習会を通し、事故ゼロを目標とした取組みを行う。

(5) デジタル推進の取組み

会員所有のスマートフォンを使って、会員専用サイトを立ち上げ、そこから会報・イベント情報・就業情報・配分金明細書等の情報配信を展開したが、利用率約3割となっており、まだまだ普及とは至っていない。今後とも就業情報・イベント情報、会報等の発信を継続していく他、スマートフォンの使い方がわからない会員に対しても、プロによるスマートフォン教室を通して解決したり、職員もフォロー出来るようにし、会員のスマートフォンスキルを向上していく。

3. 事業目標

令和7年度事業計画に基づき、次の事業目標を定め、会員、役職員一丸となり目標達成に向けて取り組んでまいります。

	令和7年度計画	令和6年度計画
会員数	250 人	250 人
請負契約金額	73,335,000 円	74,254,000 円
派遣契約金額	4,500,000 円	5,000,000 円
請負延人数	13,000 人	14,100 人
派遣延人数	1,000 人	1,200 人